

市営保育所の民間移管の状況について

1 平成 26 年度移管保育所

旧名称	移管後名称	運営主体
室町乳児保育所	こぐま白雲北保育園 (H28～) (こぐま第二保育所)	社会福祉法人熊千代会
朱雀乳児保育所	月かげみどり保育園	宗教法人竹林寺

(1) 移管後の状況

平成 27 年度末で当分の間が終了し、三者協議会については延長せず平成 27 年度末をもって終了した。

三者協議会終了以降については、両園ともに、園と保護者の二者で定期的に協議の場を設けられており、平成 29 年度についても継続される。

(2) 第三者評価の結果

ア こぐま白雲北保育園 (平成 27 年度受審)

A 評価	B 評価	C 評価	非該当
36 項目	30 項目	3 項目	2 項目

B 評価の多くは、京都市と法人のマニュアルが統一されていなかったことが要因であり、現在は統一されたマニュアルを整備されている。そのほか、実習生の受入れマニュアルは整備できているものの実習指導者への周知が出来ていないこと及び職員に対する研修が不十分である等の理由により減点されている項目があったが、子どもへの発達援助や子育て支援に関する項目については、概ねよい評価となっている。

なお、指摘事項については、改善されていることを確認している。

イ 月かげみどり保育園 (平成 28 年度受審)

A 評価	B 評価	C 評価	非該当
65 項目	4 項目	0 項目	2 項目

保育課程の作成手順やマニュアルの定期的な見直し等、事務面での指摘があったものの、多くの項目でよい評価となっている。

なお、指摘事項については、現在、改善に向けて取り組まれている。

2 平成27年度移管保育所

旧名称	移管後名称	運営主体
九条保育所	永興くじょう保育園	社会福祉法人 永興福祉会
吉祥院保育所	青い空保育園	社会福祉法人 保健福祉の会

(1) 三者協議会の開催状況

<開催状況>

年度	永興くじょう (旧九条)	青い空 (旧吉祥院)
28	(開催回数) 4回 (協議事項) ・市営保育所における独自サービスの見直し ・保護者アンケートの結果 ・保護者と保育士のコミュニケーション ・クラス懇談会 ・遊具の撤去 等	(開催回数) 5回 (協議事項) ・市営保育所における独自サービスの見直し ・保護者アンケートの結果 ・行事 (クッキング活動や運動会等) ・卒園アルバム等 ・園舎の改修 等

<主な協議内容>

保護者からの意見・質問等	回答・対応
市営保育所における独自サービスの見直しに伴って、保護者負担が増える場合、保護者説明会等を開催していただけのののか。	今後、市営保育所の状況も踏まえ、永興くじょう保育園の方針を検討する。市営保育所と同様の負担を求めることになる場合は、懇談会や三者協議会において御相談させていただきたい。
焼いもパーティがなくなるが、芋掘りもなくなるのか。大鍋パーティをするということだが、どのような形で行うのか。乳児も参加するのか。	芋掘りは今までどおり行う。大鍋パーティは、園で採れた野菜などを、クッキング活動もしながら行う取組で、子どもたちみんなの前で大鍋に具材を入れて炊き、みんなでいただくことを考えている。乳児の子どもにも、野菜をちぎるなどできることがあればお手伝いをして参加してもらいたいと考えている。
なぜ幼児の部屋割りを変えたのか。	職員から死角になる場所があったため、安全に遊べるよう職員同士で話し合い、変更した。
保育士の目が届いていない、朝は先生が少ないのではないのか。	職員配置数は基準より多くなっている。朝夕は職員が少ないが、アルバイト職員を入れている。子どもが室内と園庭に別れていると目が行き届かないことがあるので、9時までは園庭に出ないことにしており、以前より改善している。
行事を見直してもよいのではないのか。	基本は市営のときと同じように取り組むこととしているが、将来的には変わっていく部分もあると考えている。
ジャングルジムが撤去されてから、帰宅後も体をよく動かすようになり、よかったと思っている。今後遊具を置くのか。	子どもが広くなったスペースでどのように遊ぶかを見ながら、保護者の意見も聴いて考えたい。おもちゃ置場などもきれいにしていきたいと考えている。

(2) 保護者アンケートの実施

- 移管後の子どもの様子や、保育内容、保育園運営等についての意見を聴くため、保護者アンケートを実施した。
- 平成28年6月に実施したアンケートでは、移管前後の子どもの様子の変化について、担任が変わったこと等により、変化があったという回答があった。保育園での子どもの様子については、ほとんどが「担任保育士に慣れ親しんでいる」「保育園での生活を楽しんでいる」という回答であった。
- 保育園の運営、保育の内容等については、「施設環境がよくなってきている」、「行事や教室は民間保育園になってよかった」等、民間移管後の運営に期待する御意見をいただいた一方、職員の保護者対応については、保護者からの意見が多くあった。職員会議で話し合いをしたり、研修を行ったりして、園において改善に取り組まれている。

(参考) 民間移管に係る保護者アンケート結果の概要

(1) 平成28年3月末までと4月以降の子どもの様子の変化

	永興くじょう	青い空	内容
あった	16	5	<ul style="list-style-type: none"> ・早く寝付くようになった。 ・話し言葉が増えた。 ・新しい先生に馴染んでいなかった。 ・たたかれたり、かまれたり、ひっかかれたりしているが、先生が気づいていない。 ・年上の子どもの真似をして出来ることが多くなった。 ・あまり笑わなくなった。
なかった	21	10	

(2) 子どもの様子

		永興くじょう	青い空
クラス担任保育士との関係	a 慣れ親しんでいる	49	19
	b 慣れ親しんでいない	0	0
	c わからない	5	2
保育園での生活	a 楽しんでいる様子	51	19
	b あまり楽しんでいない様子	0	1
	c その他	3	1

(3) 現在の保育園の運営や保育の内容等

		永興くじょう	青い空	理由
日々の保育内容	満足・概ね満足	47	14	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではできないことをたくさんしてもらっている。 ・遠足に行く機会が増えた。 ・野菜を収穫したり、虫を育てたり、遊び以外にもいろいろな刺激を受けている。
	普通	5	4	・歌（音楽）やボールを使う機会がもっとあれば良い。
	不満・やや不満	2	2	・その日の子どもの様子を教えてくれる日とそうでない日がある。

給食	満足・概ね満足	48	19	・野菜が多く使われている ・家では出せないものを出してくれている。
	普通	5	2	・月ごとにメニュー一覧表を貼ってほしい。
	不満・やや不満	1	0	・甘いおやつが多い。砂糖ではなくオリゴ糖を使用してほしい
保育園の環境	満足・概ね満足	32	9	・テラスがあって良い。 ・隣に公園があるなど近くに自然があって良い。
	普通	16	6	・古い。 ・ホールがない。
	不満・やや不満	6	7	・部屋割りが不満。 ・ピアノがない。 ・狭い。 ・あまり掃除できていない。
行事	満足・概ね満足	39	11	・いろいろなどころに出かけられて楽しそう。 ・遠足は長い距離を歩かせてもらっている。
	普通	12	9	・平日の保育参加は参加しづらい。
	不満・やや不満	2	2	・保育参加の枠が少ない。
職員の子どもへの接し方	満足・概ね満足	40	12	・細かな気遣いがあり、丁寧に接してもらっている。 ・優しくすぎず厳しすぎず、ちょうど良い。
	普通	10	7	・時々言葉遣いがきつく感じる。
	不満・やや不満	3	3	・子どもへの対応がざる。 ・言葉掛けが少ない。
職員の保護者対応	満足・概ね満足	35	11	・子どもの様子をしっかりと伝えてもらえる。 ・笑顔で元気に挨拶してもらえる。
	普通	10	7	・知らせてほしいことについて、教えてもらえない。
	不満・やや不満	9	5	・こちらが聞かなければ何も教えてくれない。 ・先生によって対応が違う。 ・挨拶はあるが、会話がなない。

(3) 今後の取組

- ・ 移管後の保育園運営や保育の内容に関して、保護者の意見を把握し、保育園運営にいかすため、引き続き保護者アンケートを実施する。
- ・ 園と保護者の協議により保育園の運営が進められており、三者協議会の開催頻度が減っていく傾向にあるが、幼保総合支援室の保育士資格を持つ課長が、移管後の保育園を訪問して保育の実施状況等について確認し、三者協議会で報告する。

3 平成29年度移管保育所

旧名称	移管後名称	運営主体
錦林保育所	錦林保育園	社会福祉法人 京都社会福祉協会
砂川保育所	稲荷砂川保育園	社会福祉法人 稲荷保育園

(1) 三者協議会の開催状況

<開催状況>

年度	錦林保育所	砂川保育所
28	(開催回数) 6回 (協議事項) ・園名 ・行事(夏まつり, 運動会など) ・保護者負担(持ち物, 帳面, 教材等) ・市営保育所における独自サービスの見直し ・子育て支援事業 ・保育時間, 時間外保育 ・施設環境や設備, 備品など ・異年齢保育 ・職員の引上げ 等	(開催回数) 6回 (協議事項) ・園名 ・行事(夏まつり, 運動会, 作品展など) ・保護者負担(持ち物, 帳面, 教材等) ・市営保育所における独自サービスの見直し ・子育て支援事業 ・保育時間, 時間外保育 ・検診 ・職員の引上げ 等

<主な協議内容>

保護者からの意見・質問等	回答・対応
面談や家庭訪問は実施するのか。	新入児は家庭訪問を実施し, 在園児については必要に応じて家庭訪問や面談を実施する予定である。
個々の子どもについて, どのように引き継ぐのか。	一緒に保育を行う中で, 子どもとの関わりや対応を見てもらいながら伝えていくことが基本である。その他, 記録を見てもらいながら, 個々の子どもの特性や対応の仕方を伝えていく。
子育て支援の引継ぎもするのか。	深草地域全体を管轄する拠点担当の役割は引き継がないことになっているが, 園庭開放や保育所で行っている子育て支援は引き継いでいく。
一時預かり等について, 移管後においても人員を削減せずに実施していただけるのか。	実施する予定である。手法については検討する。
設備, 備品, おもちゃ, 絵本などは変わるのか。	設備やおもちゃ等はそのまま引き継ぐ。
子どもたちが良質な芸術に触れる機会を続けてほしい。	移管後は, 左京区の民間保育園が合同で行っている音楽観賞会に参加する。
夏のプール遊びについて, 砂川保育所は週3日実施している。移管後はどうなるのか。	週3回を予定している。
共同保育に残る保育士はどのような基準で決定するのか。	子どもとの関係, 錦林保育所での保育・業務に慣れていること等を総合的に判断する。

<p>稲荷保育園で独自に作成されている帳面を購入する場合の負担はどうか。</p>	<p>新入園児については、定価（950円～2,000円）で購入していただく。在園児については、現状と同額の400円のみ負担していただき、差額は園で負担する。</p>
<p>土曜保育については、事前に申し込むのか。</p>	<p>現状どおり当日でも対応するが、可能な限り早めに連絡していただきたい。</p>
<p>お弁当日が増えることについて、負担を感じる保護者がいる。各家庭の状況を踏まえて再検討して欲しい。</p>	<p>お弁当持ち散歩などの回数を増やしたいと考えていたが、家庭の状況を考慮し、お弁当日の回数は現状どおりとする。</p>
<p>保育内容について、法人と市の職員間で具体的にどのような話し合いを行っているのか。</p>	<p>錦林保育所では朝のつどいをして、一日の見通しをもって子どもが保育所での生活をスタートできるよう日課を組んでいるが、登所時間にばらつきがある中で、園庭あそびの時間をどのように保障するか、という課題がある。</p> <p>保育所に来たらすぐに園庭で思いっきり体を動かして遊びたいという子もいれば、園庭に出てどのように遊んでよいか分からない子どももおり、何が子どもにとって最もよいのか様々な意見を出し合いながら話し合っている。</p>
<p>新しい園名について、どのように考えているのか。</p>	<p>歴史ある「錦林」という名称を引き継いでいきたい。保護者の中に様々な意見があることも踏まえ、「錦林保育園」とする。</p>
	<p>地域名である「砂川」という名称を大切にしつつ、稲荷保育園の姉妹園であることが分かるようにという思いを込めて「稲荷砂川保育園」とする。</p>
<p>卒園式は現状どおりか。</p>	<p>土曜日に実施する方が保護者の方は参加しやすいため土曜日の固定でもよいと考えている。</p>
<p>職員の引上げは何を基準に判断するのか。</p>	<p>保育を引き継いでいるかどうかで判断する。</p>
<p>職員の引上げ時期はいつ頃になるのか。</p>	<p>稲荷保育園からは平成28年4月から多くの職員の方に頻繁に砂川保育所に来ていただき、日常の保育やさまざまな行事を見ていただいた。また、早い段階で各クラス担任予定者を決めていただき、見学に来ていただいたことで引継ぎが順調に進んでいる。</p> <p>新年度は、移管に関わらず落ち着かない状況になるが、5月の連休が明けるとだいぶ落ち着き、6月になると安定してくることを踏まえ、6月末で保育士を引き上げることを目標に引継ぎをしていきたいと考えている。</p>

(2) 各保育所及び各移管先法人における取組

- ・ 平成28年度から各保育所での引継ぎ・共同保育が開始され、取組状況や引継ぎの進捗状況を保護者にお伝えするため、引継ぎ通信「バトン」(錦林保育所)、「結」(砂川保育所)を作成し、保護者に配付した。
- ・ 引継ぎ・共同保育に従事していただく移管先法人の職員と子どもや保護者がスムーズによりよい関係を築けるように、移管先法人の職員の名前と写真を各保育所に掲示した。
- ・ 錦林保育所の移管先法人である(福)京都社会福祉協会においては、引継ぎ・共同保育に従事する職員8名が参加する「錦林プロジェクト」を設置し、共同保育開始以前から定期的に勉強会を開催し、引継ぎ状況などを共有することで順調に引継ぎを実施することができた。また、夏まつりなどの行事にも「錦林プロジェクト」のメンバーに参加していただいた。
- ・ 砂川保育所の移管先法人である(福)稲荷保育園においては、早くからクラス担任予定者を決定するとともに、運動会に向けた取組を引き継ぐため、主任保育士予定者及び幼児クラス担任予定者について、9月から前倒しで午前中のみ保育を見学していただいた。また、移管後の保育園に従事する予定の職員以外の方にも砂川保育所を見学していただき、法人全体で市営保育所の保育を引き継ぐことができる体制を整えていただいた。

(3) 今後の取組及び評価

- ・ 移管後の保育園運営や保育の内容に関して、保護者の意見を把握し、保育園運営や引継ぎにいかすとともに市の職員の引上げの参考とするため、保護者アンケートを実施する。
- ・ 市営保育所の職員研修について、移管先法人に案内し積極的な参加を勧奨する。
- ・ 錦林保育所及び砂川保育所における引継ぎについて、幼児クラスの行事(運動会、生活発表会等)などを引き継ぐため、共同保育開始前から移管先法人の職員に積極的に保育所に来ていただき、取組の様子や子どもとの関わりを確認していただくことができている。
- ・ クラス担任予定者と子どもや保護者との関係について早くから築き上げることが可能となり、保護者の安心感につながった。